

堀川浄化エコロボットコンテスト2011

工業高校生を中心に、中学生から大学生、社会人まで。
21チーム300人が参加。

日時: 平成23年8月21日(日)
会場: 名古屋市中区納屋橋付近
主催: 堀川ライオンズクラブ
協賛: 名古屋工業大学



小石新幹線



納豆菌利用ロボット



吸ってろ過して放射ロボット



ヘドロ分解実験



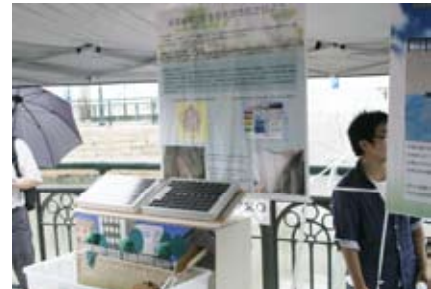
光触媒酸化剤利用



太陽光と水車を利用



ヨット型ロボット



炭素繊維で活性化

参加数全21チーム、多種多様なロボット開発に一步一步前進する堀川浄化の将来を感じました。

中学生の自転車の後輪を動かす仕組みを使ったロボット。

高校生の小石で堀川を浄化する新幹線型ロボットや、納豆菌で汚れを沈澱させる人工衛星型ロボット、汚れた水を吸ってカラダの中でろ過し、お尻から放水するカメ型ロボット、太陽光発電と水車と炭素繊維の活用を考案したロボット、ユニークな空芯菜水質浄化ロボット。

大学生の放電により動力汚水処理を行うロボット。社会人の光触媒酸化剤を活用した本格的な浄化ロボットまで。

ヘッドで絶望的になりかける思いを、若い将来の科学技術者達の夢や希望に触発され、堀川浄化に取り組んでいかなければという思いを、もらいました。

堀川ライオンズクラブ・堀川1000人調査隊の服部事務局長は、『第7回を迎えたエコロボットコンテストに21チームもの参加を得て大変嬉しい』という。

速効性のある浄化ロボットの提案も必要だが、将来を担う高校生を中心とする若い技術者のたまご達が、積極的に参加してくれる事自体に意味があるという。

「堀川の浄化」に対する市民意識が確実に高まってくれればと期待する。



表彰式の様子